

三木みらい会議 緑が丘地区のまとめ

① 三木市の自慢や課題		② どんな地域にしたいという夢	③ ②で出た夢を実現する上で、地域でできること	④ 地域の思い
<p><自慢></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が丘地区はスーパーマーケットが多くて便利 ・無料駐車場がある公園や広い公園が多い ・バス1本で神戸市に行ける ・人が優しい ・三木市は公民館が多い ・緑が丘は文教地区と言われており、知的な人が多い ・空気がきれい ・校庭が広い ・まちが静かで過ごしやすい ・土地の高低差が少ない ・市民で作り上げた子育てをしやすい環境がある ・治安が良い ・個人商店で、二代目の経営者が経営方法を変えるなどの工夫をして、繁盛している店がある 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三木市の中心地がはっきりしてない ・市内の雇用の絶対数が少ないので若者が住めない ・緑が丘に児童館が無い ・緑が丘に地域の人たちが集まれる自治会館が無い ・市内の企業も求人を出しているが、労働条件で市外に劣るので市外に就職する人が多い ・小児科が少ない ・粟生線の利便性が良くない ・昔と比べて都心の住宅の方が安くなったため、都心回帰が起きている ・三木市内の施設やイベントの情報が入手しにくい ・市民の活動の中で主導権争いのようなものがあり、協力できないことがある ・緑が丘地区に本屋が無い ・「金物のまち」というテーマが活かされていない ・空き家が多く、街並みがきれいではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちが集まれる場所があるまち ・子どもが帰ってきたいと思えるまち ・大人も住み続けたいと思えるまち ・住民全員が何らかの役割を持っているまち ・地域で行っているボランティアなどの取組が市民の収入につながるまち ・学校の校庭を多目的に活用できるまち ・世代間の交流が活発に行われるまち ・これからの課題である空き家の増加、外国人の流入に対応したまち ・アプリなどで三木のイベント情報を入手できるまち ・市民の取組や思いを行政が後押ししてくれるまち ・同じ思いを持つ市民が協力して活動できるまち ・公共交通の便が良く、住みやすさに特化したまち ・子どもの教育に力を入れているまち ・働いている人でも地域活動に参画できるまち ・行政が主となって「金物のまち」をアピールするまち ・空き家を改修して、地域の人たちが集える場として活用できるまち ・日本一のまち、日本一があるまち ・規制緩和などが行われ、市民が自由に活発に活動できるまち。 ・おしゃれで落ち着いたカフェなどがある、きれいなまち ・地域の人材を生かせるまち ・地域住民の横のつながりが強いまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・三木のことを知ることができるアプリをつくる、使う。 ・三木市内で行われるフリーマーケットやマルシェなどで高齢の方に手作りのものを売ってもらうなど、地域のイベントに参画してもらう。 ・多世代を巻き込んだ子育てコミュニティをつくる。 ・働いている人も、土日は地域の活動に参加し、地域との関わりを持つ。 ・地元で頑張っているお店を応援するために、積極的に利用する。 ・地元の魅力をSNSなどで発信する。 ・地域でイベントを企画し、そのイベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の活動に行政が資金補助などを行い、活性化させてほしい。 ・地域住民が集える拠点を整備してほしい。 ・市民活動は活発であるが、団体間の連携がうまく取れていないので、上手くいくような仕組みを行政でつくってほしい。

